

# 大田区職員9条の会ニュース

第124号 2017年8月29日 編集 大田区職員9条の会事務局  
大田区職員労働組合気付

## 今、何が起きているのかをよく考えてみよう

憲さん 最近よくわからないことが多くて・・・

法さん 物知りの憲さんのはずなのに、何、藪から棒に。

憲さん 安倍首相が憲法九条に「自衛隊を認める条項を付け加える」と言っているけど、前の2項には「戦力を保持しない」と書いてあるでしょ。矛盾しているよ。

法さん 確かに。「自衛隊の存在は違憲か、違憲でないかを争わないようにしたい。」と言っているみたいだけど。かえって矛盾を深めているような気がするわね。

憲さん 内閣支持率が下がって安倍首相は「2020年までの改憲などのスケジュールにはこだわらない」と言い出したけど、改憲って安倍首相が決めることなの？

法さん いいえ。憲法99条で内閣や公務員は憲法遵守の義務があるから憲法を守らなければいけない立場のはずよ。

憲さん ふーん。憲法のことは憲法審査会で議論するはずだね。今どういうことが議論されているのか伝わってこないで、安倍首相の改憲に向けた発言しか伝えられないなんて変だと思う。

法さん そうね。目だった動きに目を奪われないで今何が起きているのかよく知っていくことが大事ね。

憲さん 今話題になっている事と言ったら北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）のミサイル問題だけどこれもよくわからないことばかりだ。

法さん アメリカは、アメリカの領土にミサイルが飛んで来たら直ちに反撃するって言っているけど本気なのかしら。もし、双方の攻撃がエスカレートしたら朝鮮半島で戦争になる。そうならないために国際社会で歯止めをかけているのが現状だと思う。

憲さん そうなんだけど・・・。日本はアメリカからミサイル迎撃システムを買っているでしょ。このシステムでは日本を飛び越して飛んでいくミサイルを打ち落とすことはできないと言われてはいるけど、もし、日本がミサイル迎撃システムを使って打ち落としたり、日本を巻き込んだ戦争になるのではないかな。政府は「安易な話し合いには乗らない」とか言っているけど、この問題での外交努力が見えないよね。

法さん そうね。一基 800 億円もする「地上配備型迎撃システムイージス・アショア」を二基、ステルス戦闘機を 42 機買う予定みたい・・・。

憲さん なんか、危機感を煽られてアメリカから武器を買うお得意さんみたいになっているけど、本当にこれでいいのかよく考えてみる必要があるよね。



日時：9月18日（月・休）12時30分～ ※15時～ デモ  
場所：代々木公園B地区  
主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会  
協力：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

## 料理の芝居じゃないよ

逮捕されるシーンではスローモーションになり中島みゆきさんの世情がBGMに。

「お前は一般人ではない」「私は一般人です」「一般人ではない」「一般人です」「じゃーこれは？」(ものまね)「チンパンジー」「違う、ゴリラだ」

随所に笑いが。しかし心の底から、というわけには。近い将来身边に起こるかも。

「劇団チャリ T 企画」「早大有志の会」コラボ企画「キョーポーですよ！」は早稲田大学小野記念講堂で上演された。

モリカケ中学校木下先生は料理サークルに向かう途中任意同行を求められる。メッセージ、通話、ラインすべて捕まれている。「何でも自供しますのでそれだけは家族に知らせないでください。」

この芝居を共謀罪成立前に全国で上演されていたならば、と思う。

単独犯によるマリオン爆破が行われテロ等準備罪はテロ防止にはならなかった。モヤモヤしたまま終わったら辛いなーと思っていたが優しく幕が下りてホッとする。

芝居の前に早大・梅森直之教授による講演「キョーポーですか？」。

自分が一般人かどうかを知ることができない。「テロリスト」を告発することによって自分を一般人であることを確認する、と。  
(元 SEALDs 調布のイケメン)

## 日本の侵略の実相を観て考えた

～「日中不再戦の誓の旅」に参加して～

1932年の傀儡政府「満州国」の「成立」から85年、盧溝橋事件・南京大虐殺から80年そして日中国交回復から45年の今年、7月25日～30日「日中不再戦の誓の旅」のツアーで中国へ行った。主な訪問地は、中国東北部である旧満州のハルピン、瀋陽、撫順。日本が行った侵略の実相を観て回る旅だった。

日本が作った731部隊 中国が作った撫順収容所

ハルピンでは、「731部隊罪証陳列館」を訪問した。実際現地に立ち展示物を見てみると改めて日本の侵略の実相が胸に迫ってくる。細菌に感染させ解剖する、屋外で細菌に感染させる実験をする、凍傷していく経過を観察するために風雪にさらし、手足を氷らせるなどおよそ人間の所業とは思えないことが「戦争遂行のため」という美名のもとに行われていた。1939年に起きたノモンハン事件（日本軍がソ連軍に大敗を喫した戦闘）が細菌戦の実戦実験をするという影の目的の下に行われていたことを知って、無謀ともいえるこの戦闘行為がこの後の日中戦争 — 太平洋戦争の結末を暗示しているように思えた。功名心と思い上がりで現実が見えない、人間を人間と思わず「マルタ」と呼んで実験材料として虐殺する、731部隊を生み出し運営した中に侵略戦争の原点を見たような気がした。そして、戦後この「実験成果」がアメリカに渡り、実行責任者たちは戦争犯罪人として処断されることもなかった。731部隊の悪行は未だに続いていると思った。

このほか9.18記念館（1931年の満州事変からの日本の支配と抗日の歴史を展示しているところ）や平頂山記念館にも行ったが、一番印象に残っているのは撫順収容所である。

撫順の戦犯管理所では、日本人捕虜たちが自分たちの戦争犯罪と向き合い、自省し、一人の死刑者も出すことなく日本に戻った。更に傀儡政権の頭目だった溥儀さえもここで暮らし、釈放後は普通の中国の市民として暮らしたという。先に訪れた「731部隊」とこの「戦犯収容所」の違いを考えた。一方は「マルタ」として人間を実験材料に使い、一方は人間として蘇らせる。この違いは何だろうかと考えさせられた。

今回の旅で、実際に現場に立ってみて中国侵略をはじめとした侵略戦争の歴史と向き合い、再び同じ過ちを繰り返さないということを心の底から考え続けたいと改めて感じた。